



# GFSIの概要

2023年10月19日

The Consumer Goods Forum, Japan

GFSI日本ローカルグループ事務局

# ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF)



- 2009年に、「CIES -The Food Business Forum」(国際チェーンストア協会)、「Global Commerce Initiative」(GCI: 標準化推進団体)、「Global CEO Forum」という3つの組織が合併して設立されました。
- 世界中の消費財のリテラーとメーカーを結集する唯一の国際的な消費財業界団体で、世界の消費財企業とサービスプロバイダーを中心に、約400社(70カ国以上)が加盟しています。
- CGF会員企業の総売上高は600兆円以上、直接雇用者は約1,000万人です。
- 非競争分野である4つの領域(社会的・環境的サステナビリティ, 食品安全, ヘルス & ウェルネス, E2E バリューチェーン)の下に8つの行動連合、1,500人を超える専門家と30以上のグローバルと地域のワーキンググループと専門プロジェクトで組織構成し、業界共通の課題に取り組んでいます。
- 毎年30以上のイベント(Workshop, Study Tour, Summit)を開催しています。
- 58名のCEOからなる理事会が運営しており、日本からも5社が理事メンバーとなっています。
- 日本からは、小売企業、食品メーカー、消費財メーカーを中心に63社が加盟しています。

# CGFの戦略的組織と活動

我々CGFでは、8つの**行動連合**を編成し、**非競争分野**における戦略的課題に取り組んでいます。



サステナビリティ

ヘルス&  
ウェルネス

End to End  
バリュー  
チェーン

食品安全

環境的  
サステナビリティ

社会的  
サステナビリティ



プラスチック  
廃棄

食品廃棄

フォレスト  
ポジティブ

人権

持続的な  
サプライチェーン  
イニシアチブ  
(SSCI)

より健康的な  
生活のための  
コラボレーション  
(CHL)

プロダクト  
データ

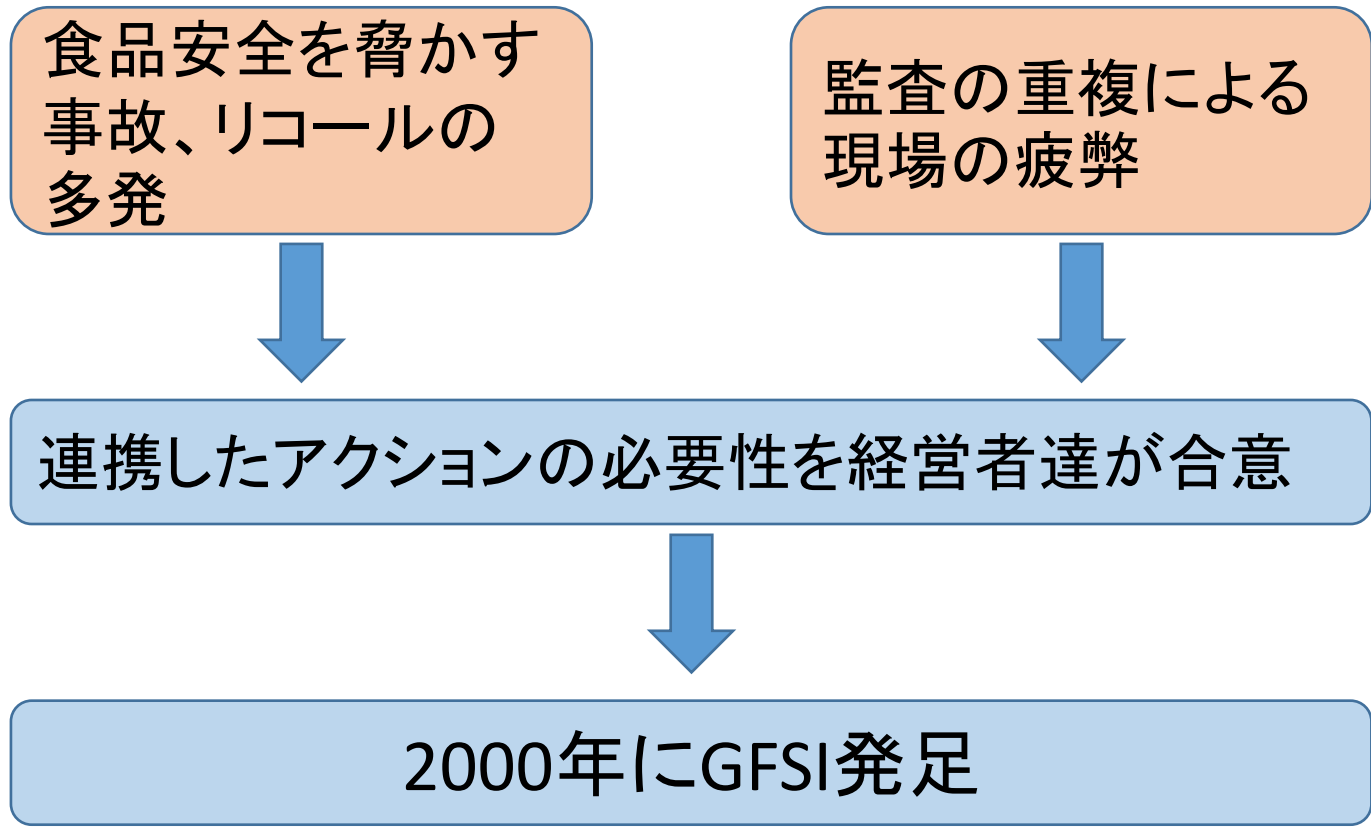
世界食品安全  
イニシアチブ  
(GFSI)

SSCI: Sustainable Supply Chain Initiative, CHL: Collaboration for Healthier Lives,  
GFSI: Global Food Safety Initiative

# GFSI: グローバル・フード・セーフティ・イニシアチブ



創設の経緯：CIES※（CGFの前身）の1活動として発足



※ The Food Business Forum:  
国際チェーンストア協会

# GFSIのビジョン



Safe food for people everywhere

すべての人々に安全な食品を提供する:

# GFSIのミッション

世界中の消費者へ安全な食品を確実に届けるために、食品安全マネジメントシステムの継続的改善を行う。

# GFSIの戦略



定期的に更新される**ベンチマーク要求事項**と照らし合わせて評価することにより、世界中の食品安全認証プログラムの規格を調和させ、向上させます。



**グローバル・マーケット・プログラム**とGFSIローカルグループの活動を通じて、業界とサプライヤーの食品安全能力の構築を図ります。



共同プログラムへの対話および参加を通じて、政府の食品安全規制当局と民間パートナーを連携させます。

業界が共有する利益



食品安全の継続的な向上

消費者の信頼感の向上

取引機会の拡大

監査の減少

費用効率の向上

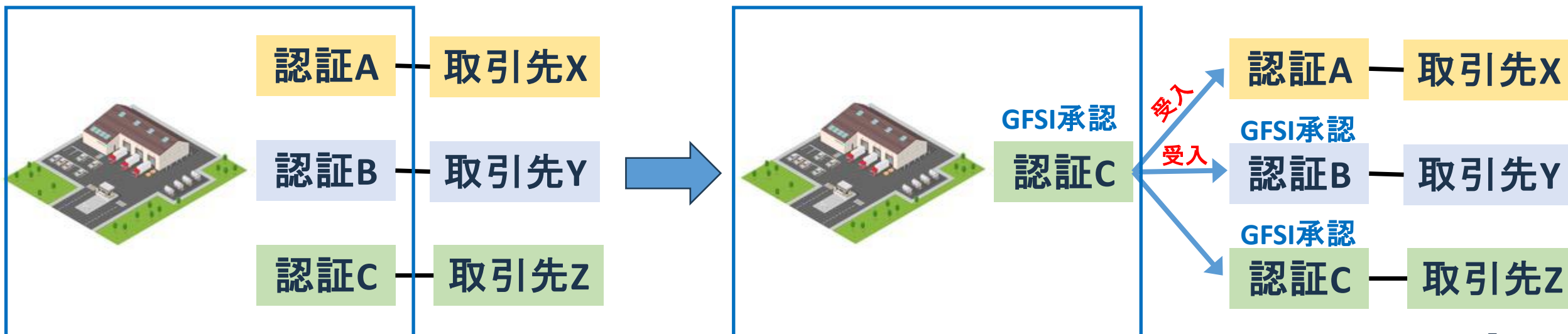
# GFSIの戦略



Once Certified, recognized Everywhere

いったん認証されれば、どこでも受け入れられる

”GFSIベンチマーク要求事項”を満たす認証プログラムを公表し、それらをどれか一つ取得すれば、世界の全てのステークホルダーに認められる状態を目指す。これによって食品安全の水準も上げていく。



# GFSIの戦略



Once Certified, recognized Everywhere

いったん認証されれば、どこでも受け入れられる

【GFSIが承認した認証プログラムオーナー一覧】

認定事業所数は世界で  
132,966サイト ※2019年データ





# GFSIの戦略



## 取り組み中の課題



世界的な  
監査員の不足

「監査員」という職業の価値が  
世の中に伝えられていない

能力開発・キャリアの  
道筋が見えない

激務



### 監査員的能力開発フレームワークの開発・運用

Level	Knowledge	Skills	Attitudes
Early	Technical	Oral, written	Approachable
Competent	Audit process	Project management	Team player

- 現在、原案の作成中
- 2024年の早い時期にパブリック・コンサルテーションを実施予定

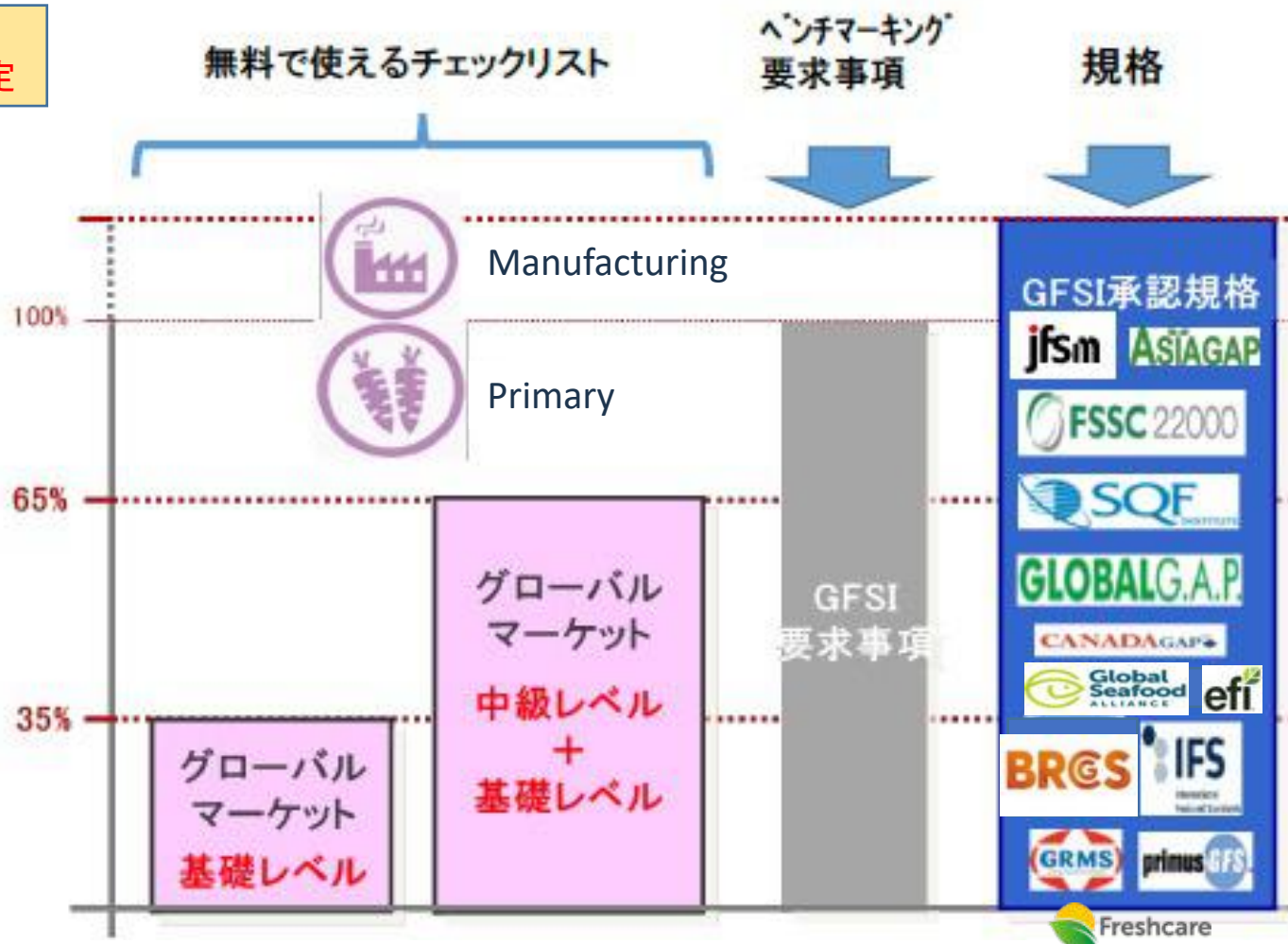
# GFSIの戦略



## グローバルマーケットプログラム (GMaP)

2008年初版  
2023年9月改訂版発行予定

- ・ 段階的にGFSI承認食品安全規格の取得を目指すプログラム
- ・ 一次生産と小規模食品製造者あるいはこれから発展する企業が対象
- ・ 食品安全マネジメントシステム構築のための自主的なツール
- ・ より安全な食品の製造と市場獲得に向けたロードマップ
- ・ 小売業者やメーカーによる取引先の監査でも活用されている事例あり



# GFSIカンファレンス（GFSIの年次世界大会）



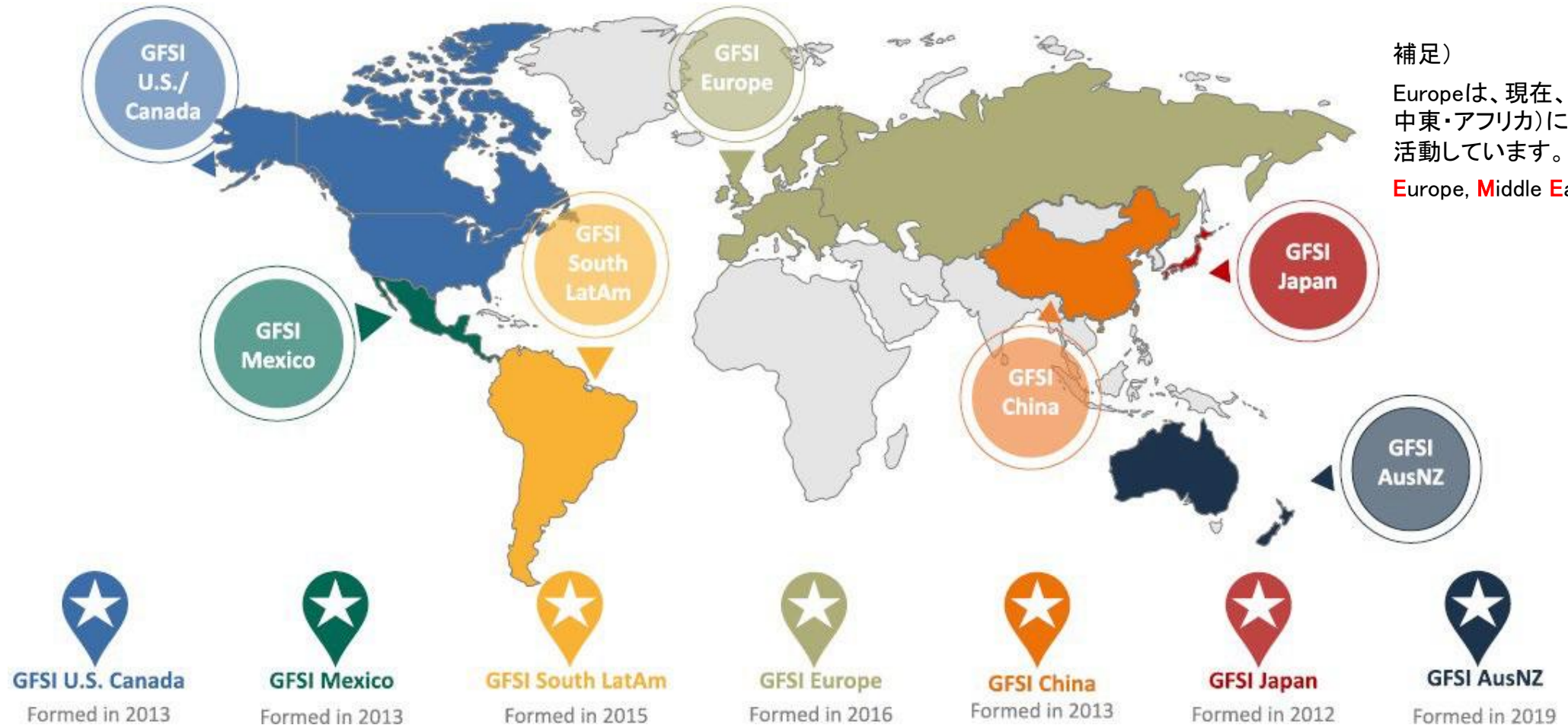
2024年4月9～11日 シンガポールで開催



# GFSI ローカルグループ

グローバル戦略を地域レベルで実現するために、GFSIステアリングコミッティはGFSIローカル・グループを通じて地域ネットワークと連携しています。

ローカルグループは、GFSIの取り組みを支援し、地域横断的に食品安全を管理・改善するための知識共有と食品安全規格の調和を促進します。



補足)  
Europeは、現在、EMEA(欧州・中東・アフリカ)に範囲を広げて活動しています。  
Europe, Middle East, Africa

# 日本におけるGFSIの歩み



2012

2018

2023

日本ローカル  
グループ設立

## 主な取り組み

- ・ガイダンス文書、GMaPに対する理解度の向上
- ・GFSI, GMaP, GFSI承認規格に対する認知度の向上
- ・行政とのネットワーク構築、連携
- ・GFSI本部(グローバル)との連携

日本発の規格  
JFS-C,  
ASIAGAPが  
GFSI承認を取得

世界食品安全会議  
の東京開催

GFSI承認規格取得数

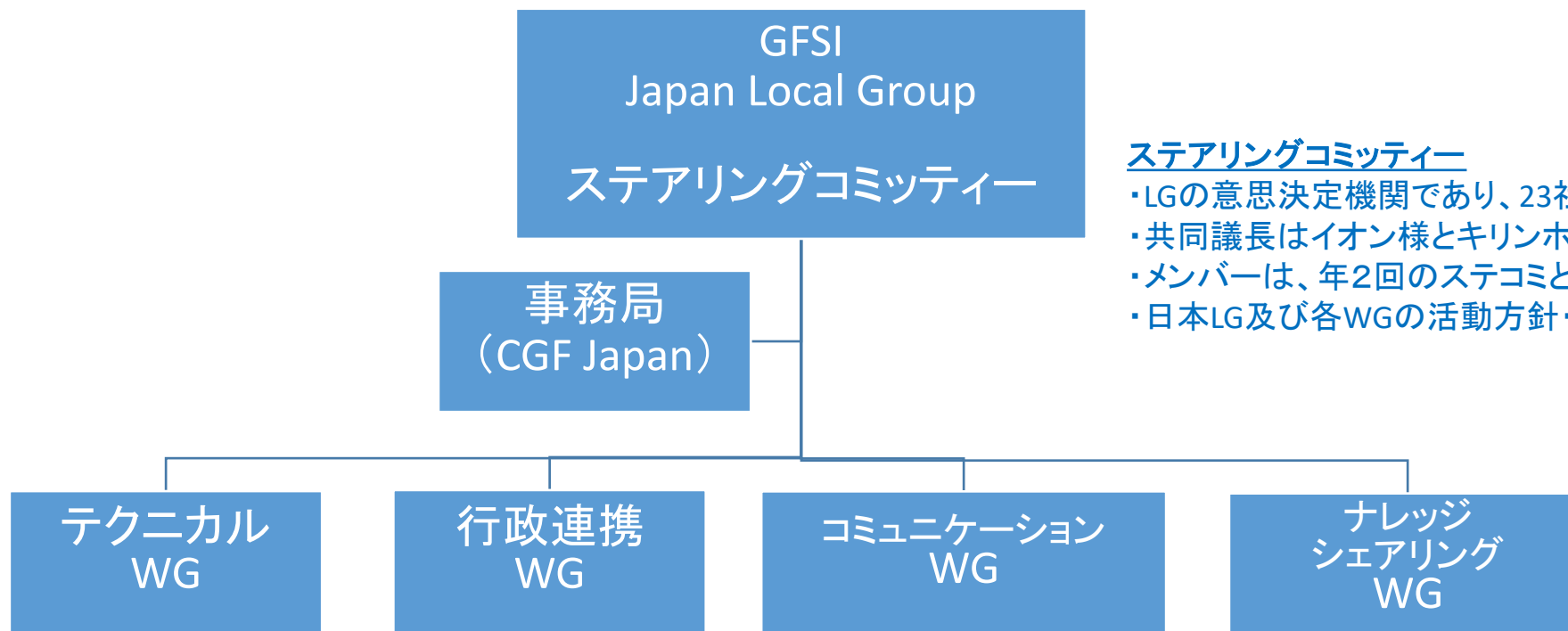
3,000以上の食品工場  
1,100以上の農場(組織単位)

次のステージへ

Safe food for consumers everywhere

すべての消費者に安全な食品を提供する:

# GFSI日本ローカルグループ (LG)



## ステアリングコミッティー

- ・LGの意思決定機関であり、23社(2023.10現在)で構成
- ・共同議長はイオン様と麒麟ホールディングス様(2023.10現在)
- ・メンバーは、年2回のステコミと、年1回の総会に参加
- ・日本LG及び各WGの活動方針・計画・実績の審議、承認を行う

## ワーキンググループ (WG)

- ・年間計画に基づき、WG毎に1回/月～数ヶ月程度の活動・打合せを実施。
- ・各WGのリーダーはステコミ・総会において、活動計画・実績を報告し、承認を受ける。

11社  
リーダー: エコア様

- ・GMaPの普及
- ・関連規格の研究
- ・他のWGへの技術的支援



10社  
リーダー: 国分様

- ・関連省庁、地方行政との連携強化
- ・GFSI承認規格の普及による輸出支援



4社  
リーダー: 三菱総研様

- ・国内ステークホルダーへのGFSIの啓発
- ・GFSIホームページへの活動状況の掲載



9社  
リーダー: Mizkan様

- ・セミナーの開催
- ・Japan Food Safety Dayの企画、実行



# ご清聴いただきありがとうございました

日本語ウェブサイト、GFSI紹介動画も是非ご覧ください。



日本語ウェブサイト



GFSI紹介動画